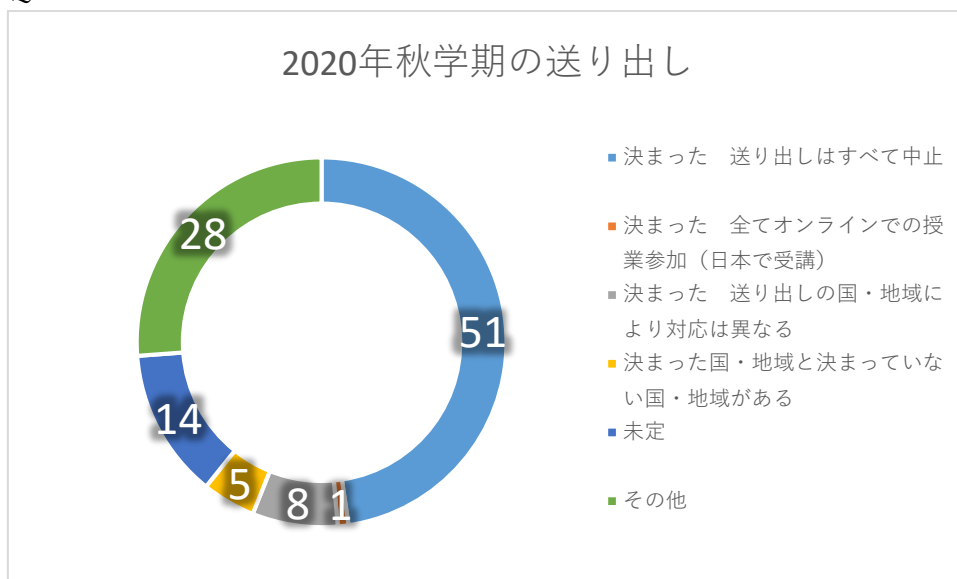


新型コロナ流行と留学事業について大学向けアンケート取りまとめ

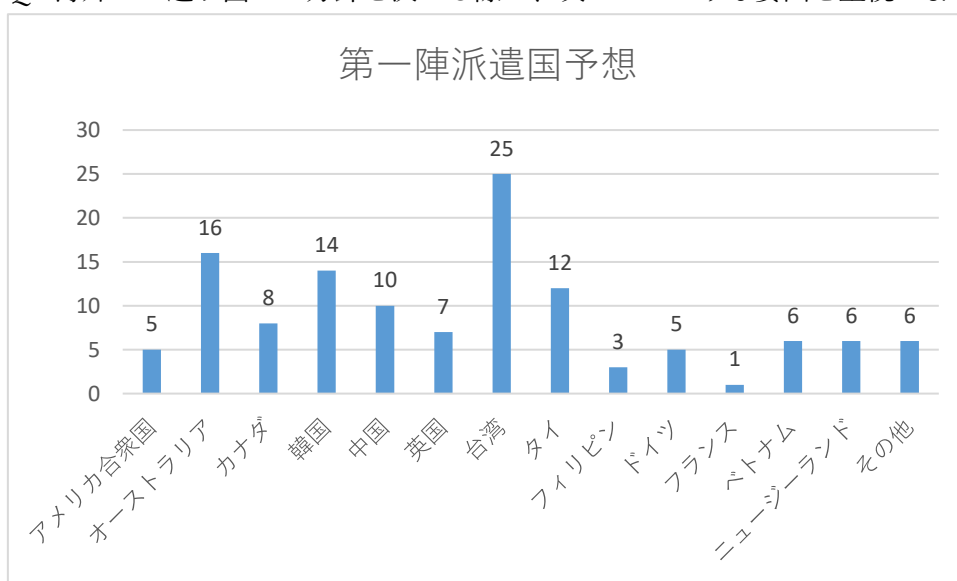
留学生教育学会・大阪大学 近藤佐知彦

表記調査にご協力いただき、有り難うございました。113件のレスポンスをいただきました。前回調査の後「夏休み直前」に日本の大学等がどちらに向かおうとしているのか、その一端が見えてくるデータとして、みなさまのご参考になればと願っております。多くの事項について伺いましたが、まず日本の大学の「大勢」を知ることが出来るデータとして、派遣・受入についてのいくつかのポイントを先にお伝えします。

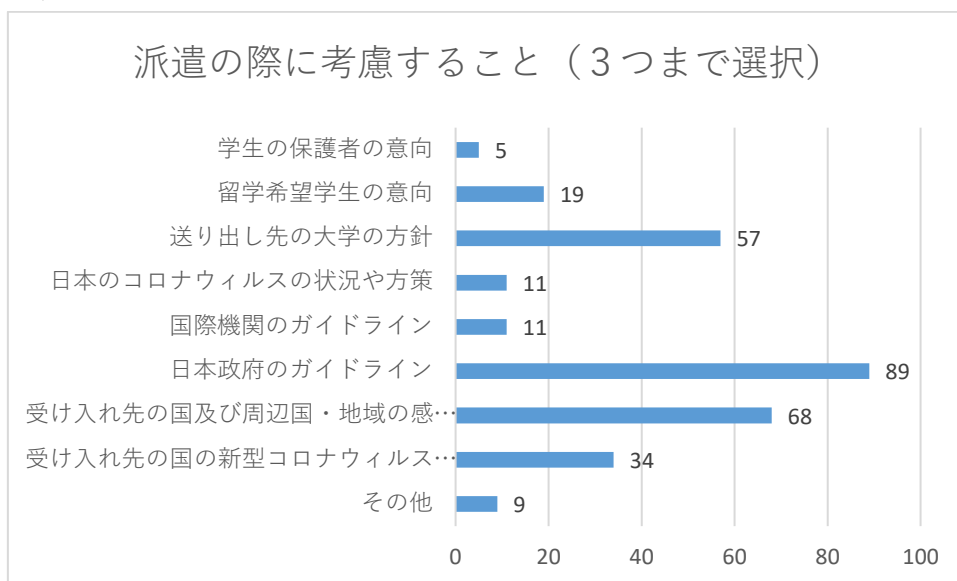
Q: 2020年秋学期の学生の海外の大学への送り出しの方針は決まりましたか？



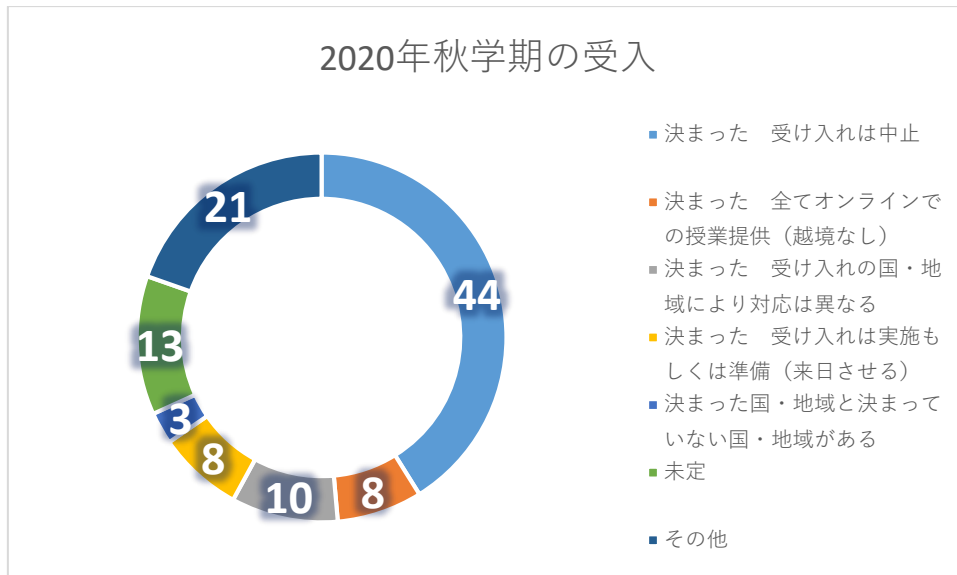
Q: 海外への送り出しの方針を決める際に、次のどのような要因を重視しますか？



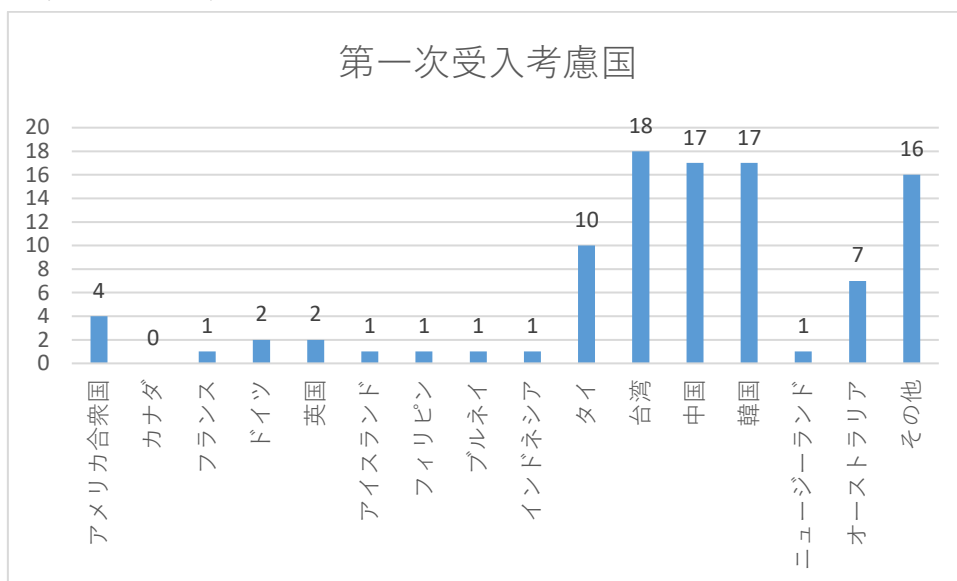
Q: 海外への送り出しを実施する場合、第一陣の送り出し先として考慮できそうな国・地域を教えてください。



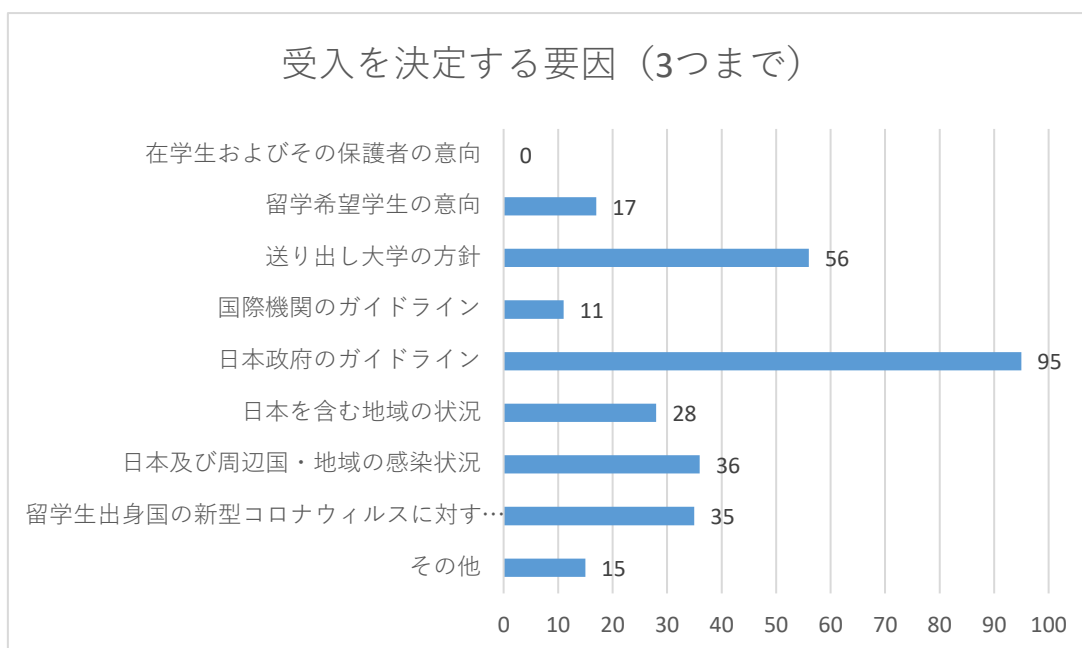
Q: 2020年の秋学期の留学生プログラムの受け入れ方針は決まりましたか？



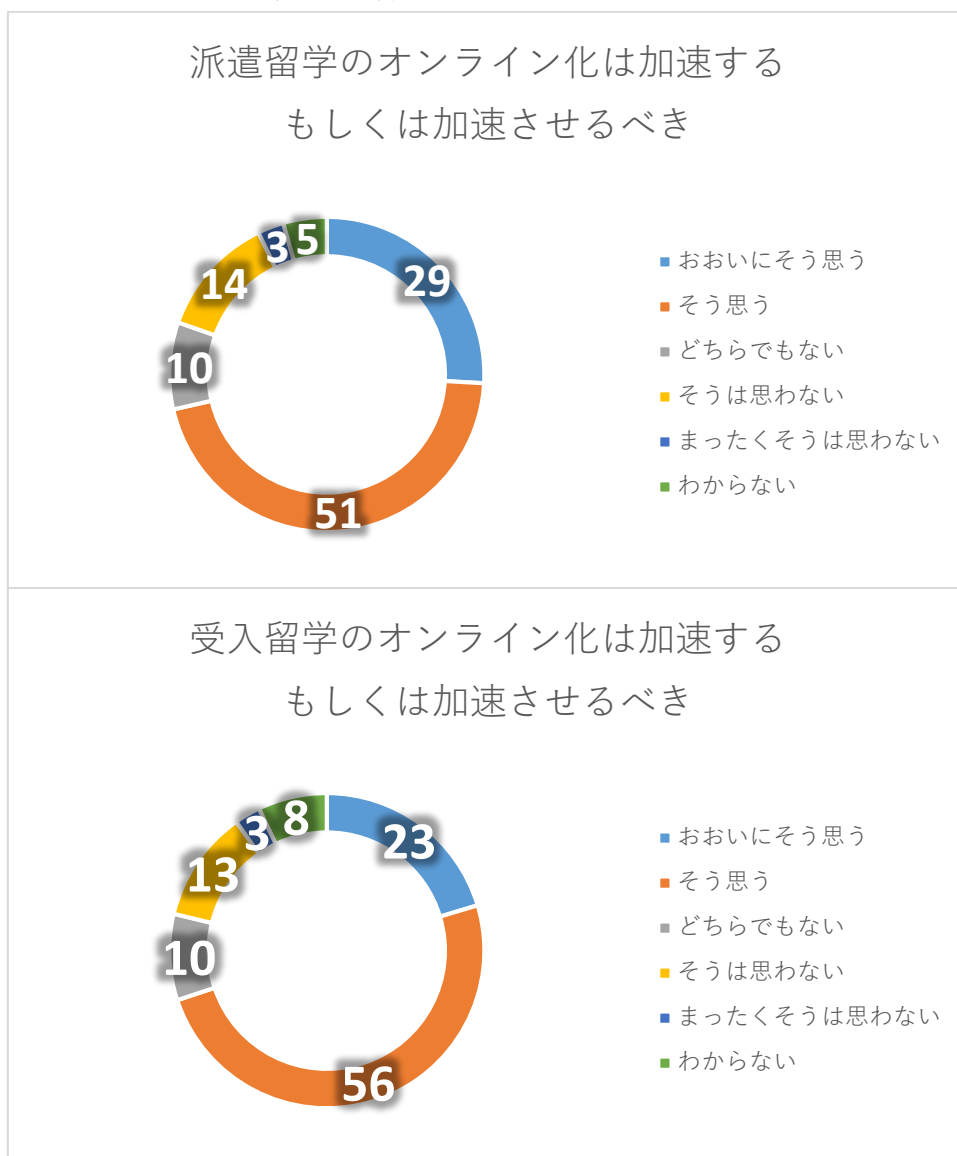
Q: 大学のプログラムに受け入れをする場合、その第一陣として考慮するであろう受け入れ対象国・地域を教えてください。



Q: 海外からの受け入れ方針を決める際に、次のどのような要因を重視しますか？



Q: コロナ禍によってオンラインによる学習や交流が注目されています。次の選択肢のなかではどれがあなたの考えに一番近いでしょう？



国際交流業務に携わっているみなさんからはオンライン化に肯定的な見方が多く表明されました。

ほかの質問項目等についても引き続きまとめ、みなさまとシェアできればと考えています。今後ともどうぞよろしくおねがいたします。

2020年8月6日記